


事業番号	10 02 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	森林資源の多面的利用推進事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課			
		実施期間	S48 ～	E-mail	ringyou@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	1. 労働生産性 3. 社会増減 6. 観光消費額							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				2-6 郷土郷就の産業人材育成・確保			
	6-1 個性豊かな地域づくりの推進							

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのため、里山を中心とした、地域や企業等による森林整備、森林資源の多面的な利用を促進する。 ・きのこを始めとする特用林産物の生産振興、森林セラピー利用者の増加 ・森林の里親新規契約 【これまでの取組】 きのこを始めとする特用林産物の生産振興、森林セラピー等企業も含めた里山利用、里山利活用のための資材等整備				
	令和2年度点検結果・現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故の影響からの回復には時間を要する。 森林セラピー基地の施設の老朽化や、利用者に対して一定の質でプログラムを提供できる体制が不足している。 里山の整備と保全を図るため、森林への理解と関心、森林を支える山村地域の活力を高めていくことが必要。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原木しいたけ等生産者の生産資材導入等の支援を継続し、原木栽培きのこ等の安定供給の推進を図る。 施設整備により利用者の安全を確保するとともに、質の高い人材の育成を進め、森林セラピー基地の利用と地域活性化の推進を図る。 地域住民による里山の利活用や森林の里親促進事業を通じた企業による森林づくりの推進により、里山を活用した山村地域の振興に取り組む。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故の影響からの回復には時間を要する。 森林セラピー基地の施設の老朽化や、利用者に対して一定の質でプログラムを提供できる体制が不足している。 里山の整備と保全を図るため、森林への理解と関心、森林を支える山村地域の活力を高めていくことが必要。
課 題	今後の方向性				
<ul style="list-style-type: none"> 東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故の影響からの回復には時間を要する。 森林セラピー基地の施設の老朽化や、利用者に対して一定の質でプログラムを提供できる体制が不足している。 里山の整備と保全を図るため、森林への理解と関心、森林を支える山村地域の活力を高めていくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 原木しいたけ等生産者の生産資材導入等の支援を継続し、原木栽培きのこ等の安定供給の推進を図る。 施設整備により利用者の安全を確保するとともに、質の高い人材の育成を進め、森林セラピー基地の利用と地域活性化の推進を図る。 地域住民による里山の利活用や森林の里親促進事業を通じた企業による森林づくりの推進により、里山を活用した山村地域の振興に取り組む。 				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原木栽培きのこ等の安定供給の推進 <ul style="list-style-type: none"> 東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により、経営が逼迫している原木しいたけ等生産者の生産資材導入を支援 ✓ 森林セラピー基地の利用と地域活性化の推進 <ul style="list-style-type: none"> 森林セラピー基地における施設整備 ガイドやコーディネーターを育成するための研修を実施 ✓ 森林の里親促進事業を通じた企業による森林づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> 企業のニーズに応じた地域とのマッチング 	 <p>森林セラピーガイド育成研修</p>
------------------	---	--

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)		R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)		
		R2年度末	R3年度	R1年度	R2年度					R3年度						
1	林務部所管の特用林産物生産額(まつたけ除く)	3,368百万円	5,643百万円	↑	未定(R3.8)		4,244百万円						前年度繰越	0	0	要求 68,152 予算案 68,152
2	県内の森林セラピーガイド利用者数	7,000人	7,195人	↑	6,000人	↓	8,000人						当初予算	103,009	79,427	
3	里親契約における企業等の契約件数	5件	5件	→	5件	→	5件						補正予算	1,124,136	0	
4													合計(A)	1,227,145	79,427	要求 68,152 予算案 68,152
5													うち一般財源	2,267	2,097	要求 1,855 予算案 1,855
													決算額(B)	1,219,065		
													職員数(人)	5.0	9.9	9.9
成果指標設定理由	1 きのこ等の特用林産物の生産額を指標に設定(過去の実績を基に設定) (※まつたけは気象条件による経年変動が大きいため対象外) 2 森林セラピーの普及啓発のためガイド利用者数を指標として設定(基本方針を基に設定) 3 地域や企業等による森林整備を促進するため指標として設定(基本方針を基に設定)															
予算要求からの主な変更点	要求どおり															

事業番号	10 02 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	森林資源の多面的利用推進事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
1	みんなで支える森林づくり事業	83,636 千円	61,727 千円	要求 52,794 予算案 52,794 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	森林(もり)の里親促進事業	直接	森林の里親制度の普及・取組の推進のため、企業等への訪問や銀座NAGANO等で企業向け講座を開催		
2	森林セラピー推進支援事業	直接	県内森林セラピー基地活用促進のため、協議会運営を開催		
3	森林セラピー推進支援事業	委託	セラピーガイドの資質向上のための研修会及び地域コーディネーター育成研修を開催		
4	森林セラピー推進支援事業	補助金	県内森林セラピー基地等へ施設整備のための支援を実施		
5	里山資源利活用推進事業	補助金	里山整備利用地域の活動に必要な初期の資機材導入等を支援 (支援予定対象地域：33地域)		
6	学校林等利活用促進事業	直接	学校林を活用した教育活動を推進するための県立学校の学校林の整備(支障木伐採等)及び学校林活動に必要な資機材の導入及び指導者の派遣を実施		
7	学校林等利活用促進事業	補助金	学校林を活用した教育活動を推進するための学校林※の整備(除間伐・歩道整備等)及び整備後の学校林を利活用して行う活動を支援 ※県立学校の学校林を除く (支援予定学校数：22校)		

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
2	特用林産産地振興総合対策事業	19,373 千円	17,700 千円	要求 15,358 予算案 15,358 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	特用林産振興資金貸付金	貸付金	特用林産物の生産加工、流通施設の導入及び諸資材の購入に必要な資金を融資		
2	なめこ生産安定資金造成事業	補助金	なめこの市場価格が低迷した場合に、(一財)長野県野菜生産安定基金協会が生産者に補給金を交付するための資金造成に対して補助 (補助対象予定数量：約3,000t)		
3	原木栽培きのこ等安定供給推進事業	補助金	東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響で高騰した、きのこ原木及び種菌の購入経費の補助 (補助対象予定数量：約25,000本)		
4	原木栽培きのこ等安定供給推進事業	直接	「長野県野生きのこ類及び山菜等における放射性物質の検査方針」に基づき、放射性物質検査及び検討会議を実施		